
高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の 遺伝子解析及びN A亜型の確定について

横手市の採卵鶏農場において確認された、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確定しました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N8型と確認されました。

1 概要

- (1) 秋田県横手市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。これを受け、農林水産省は、当該家禽を「高病原性鳥インフルエンザ」の患畜と判定しました。
- (2) また、当該高病原性鳥インフルエンザについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、「H5N8型」であることが確認されました。

※動物衛生研究部門：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門（国内唯一の動物衛生に関する研究機関）